

2024 年 6 月 18 日

報道関係社各位

慶應義塾大学

環境に配慮した「エシカル和牛・くまもとあか牛」の国内外出荷を開始 ～従来の和牛格付けとは異なる、新たな環境付加価値化の検証～

熊本県畜産農業協同組合連合会（代表理事会長：荒牧弘幸 以下、熊本県畜連）、株式会社肥後銀行（代表取締役頭取：笠原慶久 以下、肥後銀行）と慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（横浜市港北区、研究科委員長：稲蔭正彦 以下、KMD）は、2019 年に締結した連携協定「くまもとあか牛プロジェクト」に基づき推進してきた「くまもとあか牛」のブランド化・販路拡大事業の一環として、新たなブランド「エシカル和牛・くまもとあか牛」を国内外の市場へ初めて出荷します。

「エシカル和牛・くまもとあか牛」とは、2022 年より本事業に賛同いただいた出光興産株式会社（代表取締役社長：木藤俊一）ならびに同社のグループ企業である株式会社エス・ディー・エス バイオテック（代表取締役社長：阿部徹 以下、エス・ディー・エス バイオテック）より提供された牛由来メタンガス発生を約 36%(*1)抑制することが見込まれる素材カシューナッツ殻液(*2)を給与し肥育した和牛です。

新たな価値観であるエシカルな あか牛の出荷・販売によって、現行格付け制度と異なる評価軸による生販体制を構築することで、消費者ニーズに対応した持続可能な畜産業と肉食文化の維持を目指します。

*1 人工ルーメン試験におけるカシューナッツ殻液添加濃度 50ppm での抑制効果（出典：北海道大学・出光興産の共同研究 2010）

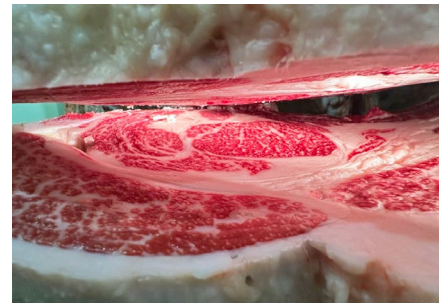
*2 本年 3 月 12 日開催された第 63 回農業資材審議会飼料分科会にて GHG 削減効果のある飼料添加物に指定することを了承し、農林水産大臣に答申された。 <https://www.maff.go.jp/j/council/sizai/siryou/63/index.html>



生産農家と連携した
新しい預託事業モデルの検証



地域金融機関と連携した
地域物産の輸出事業の検証



環境に配慮したあか牛の
付加価値化の検証

■ 新たなブランド「エシカル和牛・くまもとあか牛」について

食に対する考え方が多様化する中で「エシカル和牛・くまもとあか牛」では食の安全、健康、美味しさを重視する消費者のニーズと持続可能な食文化に対応した畜産業の実証を進めています。

- **牛のゲップによる温室効果ガス（メタン）の排出を抑制する飼料の研究**
ルミナツプなどのメタンガス排出抑制効果が見込まれる飼料を給与したあか牛を肥育に関する研究を東海大学総合農学研究所と行い、持続可能な畜産業に向けた次世代人材の育成を行っています。
- **牛の全頭・全量管理を通じた、安定的な和牛流通（トレーサビリティ）の実現**
牛個体識別番号を活用したエシカル和牛の生産情報の全頭可視化に加え、1 頭ごとの肉の流通量を可視化することで、飲食関係者や消費者が生産者から流通まで確認できる状態でお届けします。
- **持続可能な畜産業を実現する、生産者支援（Farm to Table）モデルの確立**
環境負荷が低い肉の消費など多様化する肉食ニーズに対応した新たな畜産を学ぶ農家と、購入を通じて支援したい消費者を NFT などのデジタルコミュニティで直接結び、27 カ月近く生産に時間がかかる畜産の市場の価格変動リスクを抑え、フードロスが少ない肉を消費者と共創できる体制の構築を目指します。

■ エシカル消費に対応した「エシカル和牛・くまもとあか牛」の生産および販売について

日本の固有種とされる 4 種和牛うちの 1 つである「あか牛(褐毛和種)」は、日本国内の消費牛肉の内訳でもわずか 0.36%、飼養頭数は 2 万 3000 頭(黒毛和牛は 175 万 8000 頭)と少ない希少な和牛です。しかし、近年の脂肪交雑(サシ)を重視した和牛の格付けでは、赤身の特徴とする「あか牛」の市場評価が低くなってしまい黒毛和牛への生産シフトが進んだことで、あか牛の生産数はこの 20 年間で半減しています。

そこで本プロジェクトは新たな価値観であるエシカルなあか牛の生産を技術と資金の両面で支援し、現行格付け制度と異なる評価軸による生販体制を構築することで、消費者ニーズに対応した持続可能な畜産業と肉食文化の維持を目指しています。今回、初めての本プロジェクトによる牛の出荷・販売を開始し、更なる課題解決を目指します。

一般小売向け

- 通販サイトでの直販：<https://ethical-akaushi.jp/>
- NFT を活用した生産者支援コミュニティ構築(生産農家の支援権・対象となる牛肉の割引購入券の付与)
- クラウドファンディングなどを活用した生産・流通体制の支援

業界向け(連携企業との新販売モデル検討)

- エシカルコンセプトに共感する飲食店への卸販売、ファームツアー実施、メニュー開発支援
- 提携 EC サイト、ふるさと納税向け商品の提供(セット販売・定期販売企画)
- 宿泊施設(キッチン付きホテル)、BBQ サイト向けの冷凍加工技術を活用したフーロス削減食材の提供



エシカルあか牛ブランドサイト



NFT を活用した国内外の生産者支援コミュニティ構築へ

■ (ご参考) これまでの活動について：くまもとあか牛プロジェクト(2018年～)

2018 年より、KMD では熊本県下のあか牛生産農家数が減少している現状をふまえて、都市部での販路開拓支援や歩留まり改善に向けた技術導入支援、および新しい事業モデルの検証支援を実施してきました。2019 年 11 月 29 日(いい肉の日)に産官学連携協定を締結し、畜産業と地域活性化に向けた域内外との連携事業と活動を続けています。また、2022 年 7 月 12 日には南阿蘇村との産官学連携協定を締結し地域活性化事業に取り組んでいます。



(写真) 2019 年 11 月 29 日に熊本県を立会人として、熊本県畜連、KMD(岸博幸研究室)と、株式会社肥後銀行との連携協定を締結



(写真) 2022 年 7 月 12 日に KMD、南阿蘇村、熊本県畜産農業協同組合連合会との連携協定を締結

※ なお、今後も引き続きご支援いただける企業団体を募集し、地域との持続可能な発展を目指します。

■ 熊本県畜産農業協同組合連合会

代表理事会長 : 荒牧 弘幸

住所 : 熊本県熊本市東区桜木 6 丁目 3 番 54 号

URL : <https://akaushi.jp/>

■ 株式会社肥後銀行

代表取締役頭取 : 笠原 慶久

住所 : 熊本市中央区練兵町 1 番地

URL : <https://www.higobank.co.jp/>

■ 出光興産株式会社

代表取締役社長 : 木藤 俊一

住所 : 東京都千代田区大手町一丁目 2 番 1 号

URL : <https://www.idemitsu.com/jp/>

■ 株式会社エス・ディー・エス バイオテック

代表取締役社長 : 阿部 徹

住所 : 東京都千代田区神田練堀町 3 番地 AKS ビル

URL : <https://www.sdsbio.co.jp/>

■ 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

メディアデザイン研究科 (KMD) は、イノベーションを自ら生み出し社会に向けて価値を創出する能力を持つ「メディア・イノベータ」の育成をミッションとしています。メディア・イノベータは分野や国境の枠を超えてグローバルに活動し、ポストパンデミックにおける創造社会を先導していきます。

研究科委員長 : 稲蔭 正彦 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科委員長 兼 教授)

住所 : 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1

URL : <https://www.kmd.keio.ac.jp/>

□ 地域みらいプロジェクト

「持続可能な地域活性」の実現をミッションとし、専門家視点ではなく地域の実行者目線で最新技術や社会情勢を踏まえた解決案を実情に合わせて企画・実行します。自治体や地場産業、地域住民の方と一緒に活動しながら産官学のオープンイノベーション体制を構築し、農林水産や地場産業の活性化プロジェクトを実行しています。

担当教員 : 岸 博幸 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授)

プロジェクトリーダー : 大江 貴志 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 研究員)

事務局 : オークツ株式会社 (大学発ソーシャルベンチャー)

URL : <https://chiki-mirai.localinfo.jp/>

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部等に送信しております。

【本調査内容に関するお問い合わせ先】

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 研究員 岸浪 聖

Email : sei.kishinami@kmd.keio.ac.jp

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室 (増田)

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp URL : <https://www.keio.ac.jp/>